

社協ごしよがわら

※社協は社会福祉協議会の略称です。

令和5年
8月号

編集・発行/社会福祉法人 五所川原市社会福祉協議会 電話 0173-34-3494 FAX 0173-35-5855
〒037-0065 五所川原市字幾世森218番地6 URL <http://gccsw.net/> E-mail gccsw@gccsw.net
■金木支所・電話 0173-53-2241 ■市浦支所・電話 0173-62-3285

工科高生 車椅子バスケットを体験



車椅子とボールパスを
どうにか操り、いざシュートか!?

芽生えるユニバーサルデザイン意識

五所川原工科高校の生徒が、社協の「ふくし出前講座」を受講し、障がいを持つ人や高齢者など、皆がここで暮らす隣人である理解を深めました。

6月5日(月)に体育館に集まった約280名は、車椅子を利用して暮らす高杉勝彦さん、石橋順子さん(ともに車いすバスケットボールチーム「青森ジョップス」選手)を講師に、車椅子バスケットのミニゲームに参加・見学して、いつもの生活風景、運動動作が車椅子利用で大きく変化する現実を実感しました。

高杉さんらは、この競技との出会いや車椅子生活で感じる心のバリア、外出先で「何かお手伝いできることがありますか」と小学生に声をかけられた感動エピソードを紹介し「バリアフリーは障害者の利便性を追うイメージだが、実は誰もが使いやすい『ユニバーサルデザイン』。今日の体験を心に残し、私たちが身近に感じて欲しい。」と締めくくった。

生徒は、「障がいを持つ人は、自分とは無縁な存在だと思っていた。身近に感じ、他者への理解と思いやりを深める機会になった」(白濱晴香、2年)「普段の生活に気配りし、誰もが生活しやすい環境を私たちが理解し、安心した暮らしを支えたい」(葛西有希、1年)などと感想を寄せました。



▲パスを受け車椅子を走らせる。動作の大変さ実感

▶「交流を重ねて心の距離を縮めよう」と話す講師の高杉さん(左)と石橋さん

この広報は、皆様からお寄せいただいた共同募金助成金の一部を活用して発行しています

8月11日オープン

ここに温泉しゅうら (市浦健康増進施設)

暮らしの相談もお気軽に

入浴やトレーニング機器を利用して、心身の健康向上を図りましょう。運営管理は、社会福祉協議会が皆様の声をお聞きしながら行います。生活上の困りごとや介護の相談などにも応じますので、お気軽にお声がけください。



これ、知ってる? 正解者の中から10名様に粗品プレゼント!

問題 目の不自由な人が道に迷っていました。行き方を教えてあげたいのですが、どのように言えば、伝わるでしょうか?

① 「あの郵便局の隣がパン屋さんだよ」
② 「まっすぐ10メートルくらい行ったところの左側がパン屋さんだよ」
③ 「あそこの角をこっちに曲がるとパン屋さんがありますよ」

☆応募方法: 住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、下記へお送りください。社協への意見や広報誌の感想などもお待ちしております。
☆応募締切: 令和5年8月31日(木) 必着
☆送付先: 〒037-0065 五所川原市字幾世森218番地6 五所川原市社会福祉協議会(五所川原市生き生きセンター内)
※当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

前回のクイズの答え
② 車いすの人が後ろ向きでエレベーターからおりるときに、後ろの安全を確認するため

ありがとう

(敬称略)

市浦

秋田谷樹、三和淑、小野由紀子

子ども宅食への寄付

- 東北電力ネットワーク株式会社五所川原電力センター 非常食(レスキューフーズ)
- ライオンズクラブ国際協会332-A地区 カップラーメン、袋ラーメン、白米、ジュースほか
- 株式会社薬王堂 マスク
- 専念寺 白米
- 連合青森西北五地域協議会 そうめん、お菓子
- 天理教西北I・II支部 そうめんほか
- 明治安田生命五所川原営業所 食品、衣類
- 株式会社サン・コーポレーション カップラーメン9箱



▲金木小学校 ボランティア委員会の皆様 1年間で50kgのプルタブが集まりました。来年もたくさんプルタブが集まるよう頑張ります。

社員の皆さんで衣類や食品を寄付いただきました。ありがとうございます。 明治安田生命 五所川原営業所 様

金木

秋元文良、浅利勝義、伊藤タネ、菊池勉、木村武則、木村弘子、今テツ、佐藤え子、沢田正、田中豊忠、津島伸幸、長尾典子、長尾匠時、平川久信、山本幸子、青森銀行金木中央店、カメイクツシマ、金木塾、金木小学校、金木総合支所、金木町連合婦人会、県獺友会金木支部、津島ふとん店、ライフサポート夢の森



▲ラ・プリマベラ様 定期的に寄付を下されるラ・プリマベラの皆さん、いつもありがとうございます。

▲金木町連合婦人会様 福祉の為に、多くの会員が集めてくれました。これからも元気でがんばります。



各種印刷物・デジタルコンテンツにおける企画・デザイン・制作から製版・印刷・製本

(有)アート印刷

【本社】五所川原市金山字亀ヶ岡46-7 TEL 0173(34)4487・FAX 0173(34)4459
URL <http://www.artprt.co.jp> E-mail net@artprt.co.jp
【つがる支店】つがる市本造千代町42 TEL 0173(42)1245・FAX 0173(42)8085

私たちは、この住み慣れた地域で、高齢になっても、障害をもって、自分らしく、安心して、一人の人間としての尊厳を大切に暮らすことに貢献します。

株式会社 五所川原ケアセンター

認知症対応型共同生活介護・認知症対応型通所介護『高齢者グループホーム憩いの家』
小規模多機能型居宅介護『ケアホームのりた』『ふれあいホームいこい』
居宅介護支援『ケアセンターいこい』

総合相談受付 TEL 34-4856 ケアホームのりた(事務本部)



コロナ対策の下、福祉支援を継続 事業・決算を承認

令和4年度の事業報告、収支決算などが、6月29日開催の定時評議員会で承認されました。コロナ感染症予防への配慮上、規模縮小や代替活動への変更があったものの、課題を抱える人への支援に可能な限り積極的に行動しました。概要をお知らせします。

また、任期満了に伴う理事監事の選任案も満場一致で議決され、その後に開催した理事会で、乗田孝一会長と副会長3名がそれぞれ再任されました。

実績1 つながり、ささえあう 福祉の『地域づくり』

町内会等小地域での見守り活動、交流の推進

- 見守り活動促進事業 28町内会 1,363,200円助成
- ふれあいほっとサロン 11町内会

生活支援サービスの創出 (生活支援体制整備事業)

- 生活支援コーディネーターを中学校区に各1名配置
- ふれあいいきいきサロン 6団体 計45回 1,439名参加



社会福祉法人等の地域連携体制の構築

- 五所川原市社会福祉法人等連絡協議会の運営

実績3 自分らしく暮らせる 福祉の『環境づくり』

高齢者、障がいをお持ちの方の生きがいや社会参加を支援

- 五所川原市愛の輪レクリエーション大会/規模を縮小し3年ぶり開催(総勢108名)
- ケア付き立佞武多(夢かなえ隊)/3年ぶり規模縮小して開催。参加者2名、ボランティア8名参加

権利擁護の充実

- 日常生活自立支援事業/実利用者92件(新規契約14件)
- 成年後見事業/法人後見受任19件(新規受任1件)

実績5 地域を支える 福祉の『基盤をつくる』

広報啓発活動の充実

- 広報紙「社協ごしよがわら」年6回発行毎戸配布
- ホームページ運営事業、社協パンフレット作成

組織体制の強化

- 理事会4回、評議員会3回、監査会2回、管理職会議12回、各部審定例会議延べ72回

財政基盤の確保・強化

- 一般会費3,458,340円/賛助会費500,000円/役職会費94,000円/社会福祉事業寄付金631,223円/有料広告の利用促進271,000円

社協による柔軟で利便性の高いサービスの提供

- 五所川原市養護老人ホームくるみ園/五所川原市地域福祉センター/金木中央老人福祉センター/金木生活支援ハウス/市浦生活支援ハウス

実績2 安心して暮らせる 福祉の『まち・人づくり』

住民参加による 社会福祉大会の開催

- 令和4年10月22日(土) ふるさと交流圏民センターで開催 約500名参加



子どもから高齢者まで 継続的な福祉教育の推進

- ふくし出前講座 市内各学校 計7回 地域向け出前講座 計3回

ボランティアセンターの強化で充実した市民活動

- 各種行事等へボランティアの派遣/14回
- ボランティア保険加入/団体・個人1,763名
- プルタブ等収集受付/1,087kg 換金額28,235円

実績4 ニーズを受け止め対応できる 福祉の『仕組みづくり』

安心を支援し寄り添う事業の推進

- 福祉安心電話サービス事業 利用者33名を協力員87名で見守り
- たすけあい資金貸付事業 相談22件(うち申請15件)
- 生活福祉資金貸付事業 相談167件(うち申請162件)
- 地域歳末たすけあい事業 訪問散髪事業、暮らし応援品等贈呈(地区社協)、しめ縄づくり温か交流事業(金木地区)、お楽しみお食事会事業(市浦地区)

身近で相談できる体制づくり

- なんでも相談所の運営/24時間相談対応127件

新たな課題に対応する取組

- 社会貢献活動推進事業(青森しあわせネットワーク)/相談支援3件 経済的援助56,055円
- フードバンクシステムの活用/53件
- 五所川原子ども宅食おすそわけ便/延べ2,499世帯



個別ニーズに合わせた福祉サービスの提供

- 居宅介護支援事業/訪問介護事業/通所介護事業/高齢者生きがい活動支援通所事業/障害者自立支援事業/放課後児童健全育成事業

つがる西北五の6社協で協定締結へ

～災害時の初動支援を担う～

本が行う住民の安心生活支援が、自然災害などの発生時においても、通常通り機能し、かつ災害で増大する多様な要望にも迅速に対応できるよう「災害時相互応援協定」の締結準備を進めています。

近年の自然災害や昨夏の大規模災害を機に、特に災害発生から数日間の災害対応と通常業務の円滑な両立を目指すには、近隣社協職員の中から被災地の環境を知る職員が、即座に駆け付ける体制確保が極めて有効との判断に至りました。

圏域2市4町社協で7月28日に協定締結の予定であり、各社協は相手方社協ごとに数名の支援職員をあらかじめ編成し、日常的な相互交流を続けて、緊急時支援への移行を円滑に図る特徴のもと、機能の強化を図ります。

また、ボランティア活動用の資器材保管も本会で担うこととしています。



▲協定で、災害時支援の迅速対応が一層促進される

一步を踏み出そう 身近なボランティア

社会参加やボランティア活動への参加には、特別な意識が必要と思われがちですが、「体験」、「見学」の気持ちで、気軽に一步を踏み出してみましょう。まずはお電話を。

▶問い合わせ・申し込み 五所川原市社協 電話34-3494

1 あなたの都合に応じて調整 アクティブシニアポイント事業 “説明会参加受付中”

お気に入りの介護施設等に出向いて、利用者とお話をしたり、散歩やおやつ時間のお手伝い、あなたの趣味を活かした交流などの活動を行います。あなた自身の健康や元気の向上と周囲の元気を作り出します。

活動時間ごとにポイントがつき、年間100ポイントまで貯まり、商品券と交換できるのも楽しみのひとつです。

★説明会&研修会を8月21日(月)と9月27日(水)に行います

2 8月4日(金)
(18時頃からご都合に応じて)

立佞武多
観覧サービス支援

高齢者や障害者用に設置される観覧場所で、佞武多見物を支援。観客とのおしゃべりや見守り、状況に応じて参加者の自宅からの送迎支援などの活動です。観覧希望者も受付中。



3 8月8日(火)
(19時頃からご都合に応じて)

ケア付き立佞武多
「夢かなえ隊」

車いす利用者など、誰もが一緒に立佞武多の列に加わり、お互いに楽しく運行コースを回るための活動です。参加者を見守り、掛け声で盛り上げたり、車椅子を押すなどの活動です。運行参加者も受付中。



4 9月16日(土)
(10時から14時頃まで都合に応じて)

愛の輪
レクリエーション大会

玉入れや的あてゲームなど簡単なレクリエーションを、障がいを持つ人たちと一緒に楽しむ行事です。応援や見学、ゲームの進行手伝いなど、その場で協力できる内容です。年齢問わず受付中。



決算の概要

区分	決算額
収入総額	598,264,362
支出総額	606,128,546
当期資金収支差額	△7,864,184
当期末支払資金残高	119,396,050

電気のこと暮らしのこと **お宅の困ったは当が承ります**

マルエーデンキ一番館
つがる市柏稲盛幾世171 Tel. 0173 (27) 5101

丸英設備 株式会社 丸英でんき
〒037-0056 五所川原市東広30-43 TEL 0173-35-0103